

【会則から】 この会は全国中学校理科教育の振興と、研究会相互の連携を図ることを目的とする。

【直近の計画】

- 8/7オンライン理事会・文科省講演
- 事務引き継ぎ
- 新しい理科の指導資料（全中理支援センター）
- 8/25「活動状況に関する調査」発送
- 11/? 広島大会開催に向けての事務打ち合わせ
- 2/? オンライン理事会（の準備会）

追い風のICT

求められる
バランス
感覚

対面の有効性

【伝統ある全国大会の継続的な実施】

- （リアルな）大会の実施
- 夏季・R3広島 R4三重 R5東京 R6山梨
- 春季・（リアルな）期首役員会の実施

【全中理の活動を広め、深めるために】

- 活動状況調査 → オンラインで、機会の拡大
- 組織の拡大、連携の拡大 → 長野県の加入
- 新しい研究や研修のスタイルの事例を提案

続けて行っていきたいこと

【情報共有の方法の拡大】

- メールやWebページをさらに活用
- 大会・HPに加えて、YouTubeやZoomも活用
- 冬期（リモートでの）役員会の実施

【新しい理科の授業スタイルの提案】

- （学習課題と生徒がより深くつながるため）対面での授業と家庭での個別学習の有機的な融合を図る事例
- 開発教材コンテストの実施 → 開始時期の検討

新しく取り入れていきたいこと

対面とオンラインのハイブリッド化

互いに高め合うという**全中理**の社会的価値

学校

【課題1】新しい授業スタイルの創造。コロナ禍で理科教育がつぶされるという危機感。
（一部の私学や先進校ではオンラインの有効性を生かす教育を確立している）

【課題2】教職員のスキル向上。（旧来の教育方法がだめなわけではない）苦手意識の克服。有効性を実感できる指導場面。従来の教育方法のよいところは継続しながら、まずはやってみる、という探究心が、新しい授業スタイルをつくる。

【課題3】アクセルばかり踏んでいると暴走する。同時にブレーキが必要 → 校内ルールや情報モラルの徹底。



新会長・挨拶

- お陰様で、成功裏に終えた秋田大会
- 次年度は、新学習指導要領の実施の年
- Webの福岡大会、Zoomの理事会、YouTubeの文科省講演



続けて行っていきたいこと

【伝統ある全国大会の継続的な実施】

- (リアルな) 大会の実施
- 夏季・R3広島 R4三重 R5東京 R6山梨
- 春季・期首役員会の実施

【広め、深める全中理の活動】

- 活動状況調査 → オンラインで、機会の拡大
- 組織の拡大、連携の拡大 → 長野県の加入
- 新しい研究や研修のスタイルの事例を提案



新しく取り組んでいきたいこと

【情報共有の方法の拡大】

- SNS (YouTubeやZoom等) を活用
- 冬期に役員会 (理事会?) の実施 (リモート) の可能性を探る。

【新しい理科の授業スタイルの提案】

- (学習課題に生徒が向き合うため) 対面での授業と家庭での個別学習の有機的な融合を図る事例
- 開発教材コンテストの実施 → 開始時期の検討



新会長・挨拶

- そして、広島大会へ
- 感謝

全中理の活動に対し、ここまで、多大なるお力添えやご支援を賜りました各都道府県の関係の皆様方、文部科学省の関係の方々、さらに、公益社団法人日本理科教育振興協会をはじめとする関係諸団体の皆様方へ。